

令和5年度 第63回東北連合小学校長会研究協議会山形大会
第77回山形県連合小学校長会研究協議会
開 催 要 項

1 大会主題

「自ら未来を拓き

ともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指す小学校教育の推進」

2 副主題

「人間力に満ちあふれ

社会や地域の持続的発展に貢献できる子どもを育てる学校経営の推進」

3 大会趣旨

東北連合小学校長会は、「東北は一つ」という思いを大切に、明確な理念に基づき、地域住民の信託に応えるべく、地域に根ざした創意と協働による特色ある研究を組織的・実践的に積み重ね、多くの成果をあげてきた。令和3年度からは「自ら未来を拓き ともに生きる豊かな社会を創る日本人の育成を目指す小学校教育の推進」を研究主題として取り組んでいる。

全国的に進む少子高齢化を伴う人口減少やDXによる社会構造の変化、価値観の多様化、地球環境問題など、子どもたちが生き抜いていく社会は、未知の課題にあふれ、めまぐるしく変化していく。こうした社会の状況や動向を踏まえたとき、本大会では「多様性や個性を尊重し、生命をつなぐ『いのち』の教育」や、「困難な課題にも柔軟かつ的確に対応でき、学びを人生や社会に生かすことのできる人を育てる教育」の推進が一層重要になってくると考えている。さらに、郷土を学ぶ学習や、自然環境、文化財等の地域資産を取り上げた教育活動を推進して地域への理解を深め、郷土愛を醸成し、協働で地域の未来をつくることのできる人を育成することにも力を入れていかなければならない。私たちは、その根底に、知徳体がバランスよく調和し、自立した一人の人間として社会や地域の持続的発展に貢献できる総合的な力である「人間力」があると捉えている。

また、私たちは、東日本大震災とそれに伴う原子力発電所事故からの復興の中で、「絆」の重要性と「いのち」の尊厳について学びを共有してきた。立て続けに起きる気候変動による大規模災害やコロナ禍等への対応については、経験から得た教訓を生かし、東北地方だからこその提案を積極的に発信していかなければならない。

私たち校長は、時代の潮流を捉える先見性と不易流行を見極める見識をもって、効果的な経営ビジョンを描かなければならない。その上で、創意ある教育課程の編成・実施・評価・改善に取り組むとともに、次代を担う教職員の資質・能力の向上、学校組織の活性化、施設設備の改善等においてリーダーシップを発揮し、自らの責任と使命を自覚して学校経営に取り組むことが求められている。

以上のことを踏まえ、第63回東北連合小学校長会研究協議会山形大会は、大会主題の理念をより一層推し進めることを目指し、副主題「人間力に満ちあふれ 社会や地域の持続的発展に貢献できる子どもを育てる学校経営の推進」とし、学校経営の責任者である校長の果たすべき役割と指導性の在り方について究明しようとするものである。